

緊急時避難準備区域の解除に向けた放射線モニタリングアクションプランの
測定結果(公園における環境試料の分析結果)について

平成 23 年 9 月 22 日

文部科学省原子力災害対策支援本部
内閣府原子力被災者生活支援チーム

文部科学省原子力災害対策支援本部及び内閣府原子力被災者生活支援チームにおいては、「緊急時避難準備区域の解除に向けた放射線モニタリングアクションプラン」として、7 月中に様々なモニタリングを実施し、8 月 9 日、8 月 16 日に主要なポイントの空間線量率や走行サーベイによる放射線分布マップ等を公表してきたところです。

この度、区域内(南相馬市、田村市、川内村、広野町)の公園において採取した環境試料(ダスト、水道水等)について、試料中の放射能濃度を分析し、その結果を取りまとめました。

1. 概要

1)調査期間 平成 23 年 7 月 19 日(火)～7 月 29 日(金)

2)調査地点 緊急時避難区域(南相馬市、田村市、川内村、広野町)の公園
ダスト：16 公園(試料数)
南相馬市：9(9)、田村市：2(2)、川内村：3(3)、広野町：2(2)
水道水等：12 公園(試料数)
南相馬市：7(8)、田村市：2(2)、川内村：1(1)、広野町：2(3)

3)分析方法 ゲルマニウム半導体検出器による放射能濃度の分析

4)分析結果 ダスト(16 試料)

Cs-134 不検出～1.15 Bq/m³(10 公園で不検出)

Cs-137 0.41～1.97 Bq/m³

各測定点の検出値は、これまでに文部科学省が公表しているダストサンプリングの測定結果と比較して、概ね、同程度の値となっている。

水道水等(14 試料)

Cs-134 不検出

Cs-137 不検出

原子力安全委員会が定めている飲用水の摂取制限に関する指標を大きく下回っている。

2. 各市町村別の分析結果(別紙参照)